Japan Bowling Congress

JBCnews

since1970

【毎月１回１日発行・１部20円】

JBCニュース
第530号 平成２８年１月１日
昭和50年５月19日第三種郵便物認可

発行所
公益財団法人 全日本ボウリング協会
東京都港区芝４－４－10
サンライズ長井ビル8F 03(3452)4501
http://www.jbc-bowling.or.jp/

年頭挨拶

スポーツ庁長官　鈴木　大地

平成二十八年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

スポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や個人の心身の健全な発達に必要なものであり、人々が生涯にわたってスポーツに親しむことは、大変意義のあることです。また、スポーツには、言葉や生活習慣、年齢の違いを越えて、技を競い合い、親善を深め、新たな絆をつくる素晴らしい力があります。

さて、昨年十月にスポーツ庁が発足いたしました。スポーツ行政を総合的・一体的に推進していくスポーツ庁では、スポーツを通じた健康増進やスポーツによる地域・経済の活性化、障害者のスポーツ参加促進といった新たな課題に対して、多くの役割を果たしていくこととなります。

また、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催まで五年を切りました。この二〇二〇年を中心に二〇一九ラグビーワールドカップ、二〇二二年には関西ワールドマスターズゲームズと国際的スポーツイベントの開催を控えており、国民のスポーツに対する関心が今後一層高まっていくことと思います。スポーツ庁としましては、この気運の高まりを一過性のものとすることなく、二〇二〇年以降も誰もがスポーツに親しむことのできる環境を整えることが重要であると考えております。

こうした中、ボウリング競技は、子供から高齢者まで幅広い年齢層の多くの人々から広く親しまれ、生涯スポーツとして愛好されており、今後の更なる普及・振興に期待しております。

また、ボウリング競技は、高い技術を必要とする競技スポーツでもありますが、昨年一月にタイで行われた第二十三回アジア選手権大会においては、二つの金メダルを含む合計四つのメダルを、また七月に開催された世界大会においても日本人選手が準優勝を果たすなど好成績を収められました。これもひとえに選手の皆様の日々のたゆまぬ努力と貴協会の御尽力の賜物と深く敬意を表する次第です。

貴協会におかれましては、今後もボウリング競技の競技力向上や普及・発展に努めていただくとともに、国内・国際競技大会等でますます御活躍されることを期待いたします。

結びに、公益財団法人全日本ボウリング協会のさらなる御発展と、関係者のますますの御活躍を祈念申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

心機一転「ボウリング新時代」へ挑戦

公益財団法人　全日本ボウリング協会　会長　武部　勤

ボウリングファンの皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は、ボウリングのオリンピック種目化の夢に大きく前進した1年でありました。誠に残念ながら、2020年の東京オリンピックでの実現は叶いませんでしたが、一連の活動を通じて我々は、ボウリング普及への課題とともに、ボウリングが持つ大きな力を再認識することができました。

最も勇気づけてくれたのは、100万を超える署名活動でした。全国津々浦々から続々と届いた署名簿は、家族や学校、会社、友人グループ、町内会など、どれもこれも「ボウリング仲間の絆」を感じさせるものばかりでした。

ボウリングを応援し、署名を集めてくださった方々が、賛同してくださる多くの仲間に囲まれていることを感じ、とても嬉しく勇気づけられました。ボウリングは、世代を超えて「人と人をつなぐ」スポーツです。人が出会い、コミュニティが形成され、生活に喜びを与え、人生をより豊かなものにしてくれます。ボウリングは、そのチャンスを与えてくれるコミュニケーションスポーツとして、これからさらに発展する価値があることを確認することができました。

一億総活躍社会を目指す我が国において、もっともインクルーシブなスポーツとして、リアルなコミュニケーションツールとして、ボウリングを気軽に楽しんでいただきたいと思います。そのために、ボウリングの魅力を広く伝えることから、心機一転もう一度スタートさせたいと決意を新たにしています。

ボウリングを愛する仲間の皆様のご賛同を仰ぎ、あわせてますますのご活躍をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ＪＢＣニュースは、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています

Season's greetings and best wishes for the New Year.

公益財団法人　日本体育協会

会長　張　富士夫

2016年の新年を迎え、全国のボウリング愛好者の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年10月1日に、スポーツ界の悲願であったスポーツ庁が設置され、わが国のスポーツ行政機能が包括的に集約されるとともに、今後、スポーツ界を取り巻く各種環境がより一層充実していくことが期待されております。

また、4年後に迎える2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に対する開催機運の高まりはもとより、今年8月に開幕するオリンピック・パラリンピックリオデジャネイロ大会を控え、国民のスポーツへの関心がますます高まっていると実感しております。

その様な中、ボウリングは子どもから高齢者まで、競技志向、楽しみ志向、健康志向、交流志向など多様なスポーツ享受の機会を提供することができ、生涯をとおして楽しめるスポーツとして幅広く愛好され、国民のライフステージに応じたスポーツ活動の充実に対し、多大な貢献をされています。

国内では、さらなる普及に向けた活動が展開されるとともに、国民体育大会や日本スポーツマスターズをはじめ、各種の選手権大会を通して、ボウリングの競技力向上に取り組まれ、その成果が、昨年タイで開催された第23回アジア選手権大会シングルス戦の男女とも金メダル獲得や、各種国際大会における多数のメダル獲得に結実し、ボウリング界が大きく発展していることを感じております。

これも偏に、公益財団法人全日本ボウリング協会を中心としたボウリング競技の普及と競技力向上の取り組みの賜物であり、ご関係の皆様に深甚なる敬意を表する次第であります。

日本体育協会では、平成23年に創立100周年を記念して「スポーツ宣言日本」を公表した後、平成25年に「21世紀の国民スポーツ推進方策―スポーツ推進2013―」を策定した中で、スポーツが望ましい社会の実現に貢献するという「スポーツ立国の実現」を今後のスポーツ推進の基本理念と定め、本会の諸事業はその基本理念に沿って取り組んでいくこととしております。

公益財団法人全日本ボウリング協会をはじめとする、ボウリング関係者の皆様におかれましても、遍く人々がスポーツ文化を豊かに享受できる環境の整備推進に向け、今後ともご尽力いただきますとともに、本会と一層の連携を図っていただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

終わりに、公益財団法人日本ボウリング協会の益々のご発展と関係各位のご活躍を祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

公益財団法人　日本オリンピック委員会

会長　竹田　恆和

年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

2016年、オリンピックイヤーを迎え、2月ノルウェー・リレハンメルで行われる第2回ユースオリンピック冬季競技大会、ブラジル・リオデジャネイロでの第31回オリンピック競技大会に向け、日本国民の皆様に夢と希望を与えるべく、日本オリンピック委員会は、全力を尽くして選手強化とオリンピック・ムーブメントの推進に取り組んで参ります。

東京2020オリンピック・パラリンピックの競技会場もほぼ固まり、メディアの報道が益々増え、国民の皆様の大会への関心が高まっていることに喜びを感じると同時に、大会の成功に向け、身が締まる思いで新年を迎えました。

スポーツは、身体運動を行う喜びと目標達成のために連帯することで人と人の絆を深めていきます。スポーツで培った友情と尊敬の念は人生を豊かにし、オリンピック精神と共に人々の心の中に生き続けて参ります。

ボウリング競技は子どもから高齢者まで世界の人々に親しまれるスポーツとして定着し、現在では109か国・地域に普及しております。また、昨年は、タイで行われた第23回アジア選手権大会で2つの金メダル、福岡で初めて開催されたU22第1回Fukuoka Summer Cupで日本代表選手が初代王者に輝きました。全日本ボウリング協会関係者の皆様の努力と熱意に対し改めて敬意を表します。

私達、スポーツに携わる者はスポーツの持つ力とその価値を21世紀を担う若者に伝えていく責務があります。引き続き、スポーツ文化の確立に向け、貴協会とともにオリンピック・ムーブメントの推進を誇り、その目標である世界平和の貢献に寄与してまいりたいと考えております。

結びに、公益財団法人全日本ボウリング協会の益々のご発展とボウリング業界関係者の皆様方のさらなるご活躍をご期待申し上げますとともに、ボウリング競技が日本国内はもとより世界において、より一層、普及・発展されますことを祈念申し上げ、年頭の御挨拶にかえさせていただきます。

公益社団法人　日本ボウリング場協会

会長　中里　則彦

輝ける2016年の新春を心からお慶び申しあげます。

皆様にはお健やかによき新年をお迎えのことと、弊協会を代表してごあいさつを申しあげます。

JBC会員の皆様方には、日頃から私共日場協の会員センターをご愛顧お引立ていただき、誠にありがとうございます。

本紙上をお借りして厚くお礼を申しあげます。

業況は相変わらず厳しさを増しております。建物の老朽化や耐震問題等により、皆様の活動場所であるボウリング場が消えていくことは、私共にとってもとても心苦しいことであると同時に、皆様に大変申し訳なく思っている次第でございます。

昨年は、私達ボウリング業界にとって、非常に大きな意味のある年でした。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックにおけるボウリング競技の追加種目化に向け、業界各団体が同じ目標を目指してひとつになったのです。

武部会長が強力なリーダーシップを発揮したことにより、全団体が何度も同じテーブルに付き、話し合いを行いました。

結果として、ボウリング業界の長年の夢は、2020年の東京オリンピックでは叶いませんでした。

しかし、このことは未来のオリンピックにおけるボウリングの種目採択のみならず、これから先の業界のために必ずやプラスになるということ、そして、我が業界はこの苦境を乗り切るための強さを持ちうる、素晴らしい団体の集まりであるということを再確認いたしました。

JBC役職員皆様の長期にわたるご苦労に、心より敬意を表するものであります。

私共はこれからも皆様と手に手を取って、ボウリングの楽しさ、素晴らしさをもっと多くの方々に伝えていかなければなりません。

弊協会は業界唯一の経営者団体の公益社団法人として、更なる社会貢献と共に、ボウリング業界のより一層の発展と前進のために、従来にも増して組織を挙げて取り組んでまいります。

武部会長はじめ、JBC会員皆様方の引き続いてのご支援ご尽力を、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、貴協会のますますのご発展と、今年一年のJBC会員皆様方のご健康とご多幸を祈念申しあげ、年頭のあいさつとさせていただきます。

公益社団法人　日本プロボウリング協会

会長　松田　秀樹

新年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

全日本ボウリング協会皆様の競技スポーツとしての国内外でのご活躍はもとより、次世代を担うジュニアボウラー育成活動の取り組みに心から敬意を表する次第です。

昨年は、ボウリング業界にとって永年の願いであった「2020年東京オリンピック・パラリンピック」の追加種目に向けて、業界一致団結して署名活動を行い、全国のボウリング愛好家の皆様に生涯スポーツとして続けて頂けるよう努力を続けなければならないと考えております。

しかし追加種目候補が発表され残念ながら悲願達成に至りませんでした。

この結果を受けて、ボウリング業界は試練を与えられたと捉え一致団結し、全国のボウリング愛好家の皆様に生涯スポーツとして続けて頂けるよう努力を続けなければならないと考えております。

当協会は、本年も公益目的事業の一環として国民の相互理解と親睦及び心身の健康維持に寄与し、生涯スポーツとして地域社会に貢献することを目的に、全国のボウリング場にて開催されております「健康ボウリングスクール」及び「ジュニアスクール」をサポートしてまいります。

また、2017年1月には節目である50周年を迎えるにあたり、本年を「創立50周年YEAR」として、活動を行ってまいります。

こうして創立50年を迎えることができますのも、全日本ボウリング協会様をはじめ関係各位のご支援ご協力の賜として感謝致しております。

今後もプロボウリングは夢と感動を与えるプレーでファン獲得に繋がるよう努め、微力ではありますが業界発展の為に力を注いでまいります。

最後に、（公財）全日本ボウリング協会関係各位益々のご健勝とご発展を心からご祈念申し上げますとともに、プロボウリング協会を引き続きご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

全国ボウリング公認競技場協議会

会長　伊藤　博元

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年を思い返しますと、ボウリングを2020東京オリンピックの追加種目の実現に向かっての活動に尽きると思います。一つの目標に向かって、各団体共、協議協調の上に、大同団結し、更に組織委員会を設立し、JBCの武部会長を中心にして、活動して参りました。今回は残念ながら追加種目に不採用となりましたが、武部会長を始めJBCの幹部の皆様が、大変積極的に、かつその人脈をフルに発揮し努力されましたことに対しましては、深甚なる感謝と御礼を申し上げたいと思います。

今回、100万人以上の署名活動も実現し、ボウリングの存在感を内外にアピール出来たことは、今後に結びつくと思います。またIOCに対しては、世界ボウリング連盟を通じて、残り26人の枠に追加競技としての採用を是非、働きかけていただきたいと思います。それが出来ない場合は、公開競技としての採用等も、今後の正式競技への実現に向かっての一つの段階であると思います。

今後共、ボウリングの夢の実現でありますオリンピック正式種目採用に向かって、大同団結したボウリング組織委員会をより進めて、業界の再編、改革を進めていただきたいと思います。この事もオリンピック正式種目になる為の大きな条件の一つであると思います。

また7月に開催されましたワールドオープンに於いて、山本勲選手が準優勝されましたが、今後共世界で勝てる実力のあるスター選手の育成等も必要不可欠なことであります。

ボウリング界の現状を考え、改革再編の節目の年として、より良い年になりますようにお祈りするものであります。

最後に、全日本ボウリング協会の益々の御発展、会員の皆様の御多幸を御祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

日本ボウリング商工会

理事長　川島幸一郎

年頭にあたりまして謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、日本ボウリング商工会会員各社につきまして旧年中に賜りましたご愛顧とご支援に深く感謝申し上げます。

昨年はボウリング業界において大きな輝かしい年輪を刻んだ年になりました。世界中のボウラーが頂点を目指し熱戦を繰り広げたボウリングワールドオープンの開催に日本だけでなく世界中のボウラーやボウリング関係者が沸き、新たな歴史に心を躍らせました。さらに福岡で開催されたアジア九つの国と地域から約300名の選手が集まり開催されたU22福岡サマーカップにおいてはユース選手の活躍を見ようとネット配信サービスにて2万を超えるアクセスがありましたこともボウリング競技への関心度向上の道標ともなりました。

オリンピック正式種目の選考では残念ながら落選してしまいましたが、短い期間で100万人を超える署名を集めたことで多くのボウリングファンと業界関係者が一丸となることができ素晴らしい経験となりました。これはボウリングというスポーツは生涯楽しめる！仲間と楽しめる！誰でも楽しめる！という楽しい宣言「楽宣」をすることが出来たのではないでしょうか。

ボウリングファンの皆様が日々重ねられていく輝かしい歩みと、挑戦や夢で刻まれる業界全体の力強い歩みをひとつずつ大切に年輪へと刻みながら大きくたくましい幹へと成長しているボウリングに花や実を添えることを目指し商工会会員一同、本年も協心戮力していく所存でございます。

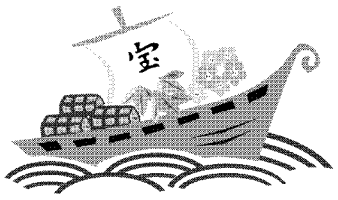
この一年が希望と活力に溢れる良き年となりますよう祈念いたしますとともに、皆様方のご多幸とご活躍をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

全国ボウリング公認競技場協議会
会長　伊藤博元
〒108-0023 東京都港区芝浦3-6-10-902
☎ 03-3453-2725
FAX 03-3798-7375

公益社団法人
日本プロボウリング協会
会長　松田秀樹
〒105-0023 東京都港区芝浦 1-13-10 第3東運ビル2F
☎ 03-6436-0310
FAX 03-3454-6140
http://www.jpba.or.jp/

公益社団法人
日本ボウリング場協会
会長　中里則彦
〒140-0004 東京都品川区南品川 2-2-10 南品川Nビル3F
☎ 03-6433-0450
FAX 03-6433-0451
http://www.bowling.or.jp/

あけまして おめでとうございます



平成28年　元旦

パナソニック リビング首都圏・関東株式会社
代表取締役社長　村山智則
〒104-0045 東京都中央区築地5丁目6番10号 浜離宮パークサイドプレイス8F
☎ 03-5565-2400
FAX 03-5565-2410
http://panasonic.co.jp/es/peslsk/

オーディン協議会
会長　熊和敏
〒701-4271 岡山県瀬戸内市長船町長船 1245-1
☎ 0869-26-8870
FAX 0869-26-8871

日本ボウリング商工会
理事長　川島幸一郎
〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町 1259 ㈱ハイ・スポーツ社内
☎ 03-3371-2735
FAX 03-3371-2735

株式会社 アサヒボウリングサービス
代表取締役　福森建司
〒350-0027 埼玉県川越市南田島843-1
☎ 049-226-4050
FAX 049-226-4061

日本エボナイト株式会社
代表取締役社長　井上昭良
〒144-0056 東京都大田区西六郷4-36-5
☎ 03-3731-2271
FAX 03-3731-2274
http://www.nichi-ebo.co.jp/

株式会社ハイ・スポーツ社
代表取締役社長　川島幸一郎
〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町 1259
☎ 045-471-9445
FAX 045-471-9447
http://www.hi-sp.co.jp

サンブリッジグループ 株式会社サンブリッジ 株式会社サンリッチインターナショナル
代表取締役　橋本政明
〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台1丁目10-3
☎ 078-797-6230
FAX 078-797-6231
http://www.sunbridge-group.com/

株式会社 アメリカンボウリングサービス
代表取締役会長　渡邉保
代表取締役社長　伊東正美
〒143-0021 東京都大田区北馬込1-1-1
☎ 03-5718-7111
FAX 03-5718-7112

神奈川県ボウリング場協会
会長　瀧田久徳
〒231-0041 横浜市中区吉田町72 サリュートビル8F
☎ 045-308-6633
FAX 045-251-7905
http://www.bpak.jp/

東京ボウリング場協会
会長　財津澄子
〒140-0004 東京都品川区南品川 2-2-10 南品川Nビル3F
☎ 03-6433-3357
FAX 03-6433-3257

関西ボウリング場協会
会長　大藪芳崇
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-7-39 第2メゾン新大阪301
☎ 06-6392-4890
FAX 06-6397-2976

関東ボウリング場協会
会長　水上源太郎
〒140-0004 東京都品川区南品川 2-2-10 南品川Nビル3F
☎ 03-6433-3357
FAX 03-6433-3257

ミィーフコーポレーション
寺村眞代
〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2丁目3-28
☎ 06-6325-1171
FAX 06-6325-1170
✉ teramura@iris.ocn.ne.jp

東京ボウリング公認競技場協議会
会長　伊藤博元
〒108-0023 東京都港区芝浦3-6-10-902
☎ 03-3453-2725
FAX 03-3798-7375

北海道ボウリング公認競技場協議会
〒085-0017 釧路市幸町10丁目1 釧路パレスボウル内
☎ 0154-24-0311
FAX 0154-24-0314
✉ k-p-bowl@khaki.plala.or.jp

福岡県公認ボウリング場協会
会長　秀嶋康成
〒811-2413 福岡県糟屋郡篠栗町尾仲 1187-1
☎ 092-410-6911
FAX 092-410-6912

徳島県ボウリング場協会
会長　森博史
〒770-0865 徳島市南末広町4-95 スエヒロボウル内
☎ 088-625-2256
FAX 088-652-3052

広島県ボウリング場協会
会長　古本和久
〒731-5124 広島市佐伯区皆賀4-19-6 ミスズガーデン㈱ミスズボウル内
☎ 082-922-5161
FAX 082-922-5132
http://www.bpah.or.jp/

愛媛県ボウリング公認競技場協議会
檜垣哲也
〒794-0084 今治市延喜甲198-1 桑名ボウル内
☎ 0898-23-1707
FAX 0898-32-1511

岡山県ボウリング公認競技場協議会
会長　熊和敏
〒701-4271 岡山県瀬戸内市長船町長船 1245-1
☎ 0869-26-8870
FAX 0869-26-8871

大阪府ボウリング公認競技場協議会
会長　大藪芳崇
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-7-39 第2メゾン新大阪301
☎ 06-6392-4890
FAX 06-6397-2976

京都府ボウリング公認競技場協議会
会長　松山靖史
〒603-8451 京都市北区衣笠鏡石町47 しょうざんボウル内
☎ 075-491-5101
FAX 075-495-2089
✉ bowling-manager@shozan.co.jp

神奈川県ボウリング公認競技場協議会
会長　前田豊明
〒231-0041 横浜市中区吉田町72 サリュートビル8F
☎ 045-308-6633
FAX 045-251-7905

伊八産業株式会社 西東京レーン
代表取締役　伊藤博元
常務取締役支配人　伊藤武春
〒198-0024 東京都青梅市新町9-1-1
☎ 0428-31-2400
FAX 0428-32-2123

株式会社 マル十 山形ファミリーボウル
代表取締役　井上智之
〒990-0821 山形市北町2-2-45
☎ 023-684-1601
FAX 023-684-5055
http://www.maruwi.co.jp/YFB/

株式会社イースタンスポーツ
代表取締役会長　中野啓二郎
代表取締役社長　中野明
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-11-15 新宿東京海上日動ビル9F
☎ 03-3379-7333㈹
FAX 03-3320-4126
http://www.starlanes.co.jp/

株式会社グランドボウル
代表取締役社長　青山浩章
〒459-8001 愛知県名古屋市緑区大高町忠治山12-1 名古屋グランドボウル3F
☎ 052-623-7535
FAX 052-623-2548
http://www.grandbowl.jp/

長崎県ボウリング公認競技場協議会
会長　川添徳也
〒850-0822 長崎市愛宕2-7-4
☎ 095-825-0763
FAX 095-825-0763

ボウリングジャーナル社
代表　津田浩
〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-19-23 ステュディオ新御堂702
☎ 06-6393-0255
FAX 06-6393-0257

エースランド株式会社 宮崎エースレーン
代表取締役社長　藤元良一
〒880-0812 宮崎市高千穂通1-3-22 エースランド内
☎ 0985-25-6262
FAX 0985-25-5305
http://www.aceland.jp/

株式会社 フォージィ イーグルボウル
代表取締役　大藪芳崇
〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-3-9
☎ 06-6394-3232
FAX 06-6397-0573

株式会社 幸田セントラルボウル
代表取締役　鈴木美郎
〒444-0113 愛知県額田郡幸田町大字菱池字前田138-3
☎ 0564-62-1711
FAX 0564-62-5509
http://www.koda-cb.jp

株式会社 星ケ丘ボウル
代表取締役社長　水野茂生
〒464-0802 名古屋市千種区星が丘元町16-45
☎ 052-781-5656
FAX 052-781-5663
http://www.hoshigaoka.co.jp/

株式会社 アイワ徽章
代表取締役　村松寛治
〒105-0004 東京都港区新橋1-18-12
☎ 03-3503-0031
FAX 03-3503-0034
http://www.aiwakisho.co.jp/

株式会社 イマジンクリエイション
代表取締役　柴山均
〒108-0073 東京都港区三田5-5-11 イマジンビル
☎ 03-3451-5459
FAX 03-5442-3866

東洋ネーム工業
社長　島隆三
〒615-0812 京都市右京区西京極大門町12
☎ 075-313-0115
FAX 075-311-6271
http://www.toyoname.jp/

株式会社サンシステムサービス
代表取締役　石川年子
〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央4-11-11 鶴見クリーンハイツ303号
☎ 045-521-8156
FAX 045-506-4200
✉ sun.s.s@nifty.com

㈱ベースボール・マガジン社 ボウリング・マガジン
代表取締役社長　池田哲雄
〒101-8381 東京都千代田区三崎町3-10-10
☎ 03-3238-0081
FAX 03-3238-0106
http://www.sportsclick.jp/

本年もよろしくお願い申し上げます

公益財団法人
全日本ボウリング協会

名誉会長　赤木恭平
会長　武部勤
副会長　臼井日出男
〃　北川薫
顧問　江橋慎四郎
専務理事 事務局長　齋藤良太郎
常務理事　曽我勝巳
〃　吉岡英隆
理事　佐藤直亮
〃　砂古口信夫
〃　森岡京子
〃　金安利和
〃　不破伸二
〃　荻野和男
〃　四宮和裕
〃　塚田芳久
〃　伊藤寛
〃　川井敏孝
〃　西林康憲
〃　山本英弘
〃　米澤満
〃　高橋尚代
〃　松下秀雄
〃　金谷志信
〃　犬島宗男
〃　近藤浩一
監事　張ケ谷和年
〃　岸邊輝彌

平成二十八年元旦

Playback 2015

1月

▼第23回アジア選手権大会（タイ・バンコク）
シングルス戦で山本優介（茨城）と石本美来（広島）がアベック金メダル、向谷美咲（千葉）はシングルとオールエベンツで銀メダルを獲得

▽第43回全日本クラブ対抗選手権大会（東京・東大和グランドボウル）
岐阜グランドクラブ（岐阜）がベーカー方式の熱戦を制す

2月

▽第32回全日本実業団都市対抗選手権大会（神奈川・川崎グランドボウル）
トヨタ自動車（愛知）が優勝、年間グランドスラムを達成

▽JBC会長杯争奪第30回全日本年齢別選手権大会（大阪・イーグルボウル）
山中香（埼玉）が30歳代で5連覇を達成、福園祐理恵（北海道／20歳代）、武部公英（大阪／40歳代）、濱田常男（大阪／60歳以上）は新記録をマーク

▽第46回全日本大学個人選手権大会（京都・MKボウル上賀茂）
1年生の中野勝仁（福岡）と4年生の向谷美咲（千葉）が優勝を飾る

3月

▽文部科学大臣杯争奪第53回全日本選手権大会（愛知・稲沢グランドボウル）
愛知男子が総合6連覇、福岡女子は10度目の優勝、マスターズ戦は髙橋俊彦（岐阜）と今井双葉（長崎）がともに初制覇

▽第18回アジアユース選手権大会（中国マカオ）
今井双葉（長崎）がマスターズ戦で銅メダル獲得

5月

▽NTK杯争奪第49回全日本選抜選手権大会（千葉・JFE千葉リバーレーン）
向谷美咲（千葉）が2年連続3度目の優勝、日比正裕（愛知）は13年ぶりの頂点

6月

▽経済産業大臣杯争奪第41回全日本実業団産業別選手権大会（愛知・稲沢グランドボウル）
エナジックインターナショナル（沖縄）が実業団デビューを優勝で飾る

▽第28回オールジャパンレディストーナメント（埼玉・新狭山グランドボウル）
渡邊美和（福岡）がミドルの部で2連覇、ヤングは入江菜々美（岐阜）、シニアは吉川朋子（三重）が制す

▽第48回全日本シニア選手権大会（愛知・稲沢グランドボウル）
男子シニア2人チーム戦、男子マスターズシニア、女子マスターズシニアの3種目で新記録が達成される

7月

▽第52回全日本選手権大会（北海道・綜合レジャーサンコーボウル）
地元北海道勢が4種目を制覇、斎藤祐太（神奈川）と松田悠（北海道）が王者に

▽第52回西日本選手権大会（京都・しょうざんボウル）
国体開催を控えた和歌山県勢が2冠、選手権者には和田翔吾（和歌山）と泉宗心音（愛媛）が破格の規模で開催されたワールドオープン

▼World Bowling Tour MAJOR Bowling World Open（東京・ラウンドワン南砂店、品川プリンスホテルボウリングセンター／千葉・幕張メッセ）
世界56の国と地域のトップボウラーと400名を超える一般挑戦者が集結、オスク・パレルマ（フィンランド）とジョーイ・イェオ（シンガポール）が100万円の優勝賞金を獲得

▽文部科学大臣杯争奪第39回全日本中学選手権大会（京都・キョーイチボウル宇治）
水谷若菜（愛知）は2大会連続準優勝の雪辱を果たし、羽ヶ崎拓海（神奈川）は予選からの独走で初優勝

▼第16回アジアスクール選手権大会（中国香港）
金・銀・銅メダルそれぞれ2個ずつ獲得でユースジャパンの強さ示す

▽JOCジュニアオリンピックカップ争奪第39回全日本高校選手権大会（神奈川・川崎グランドボウル）
夏目智樹（岐阜）が大量リードで初優勝、坂本かや（神奈川）は前年度中学チャンピオンの実力を示しV

8月

▽第6回全日本小学生競技大会（愛知・稲沢グランドボウル）
今大会からスポーツ拠点づくり推進事業に認定、大人顔負けの高スコアで盛り上がる

▼U22 1st Fukuoka Summer Cup 2015 Sponsored by STOM（福岡・博多スターレーン）
アジア圏のユース選手育成を願う大会が発足、佐藤貴啓（学連）が初代チャンピオンに

▼第2回世界シニア選手権大会（アメリカ・ラスベガス）
吉田由美子（埼玉）がシングルス戦で6位に入賞

9月

▽日本スポーツマスターズ2015石川大会（石川・ジャンボボール）
親善ボウリング大会に高円宮妃殿下がご参加、梅田久徳（三重）と渡邊美和（福岡）が選手権者に

10月

▽第70回国民体育大会（和歌山・紀の川ボウル）
愛知県が男女総合・女子総合とも9年ぶりの優勝、向谷美咲（千葉）は成年女子個人戦で4連覇を果たす

▽第48回全日本新人選手権大会（東京・東大和グランドボウル）
長澤椋（岐阜）が成年男子を制し、5年前の少年男子制覇と併せて2冠に

11月

NHK杯2連覇、国体は4連覇の向谷

国体は愛知が総合優勝

▽内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯争奪第44回全国都道府県対抗選手権大会（岩手・ビッグハウススーパーレーン）
大阪府が安定の強さで総合3連覇を達成、宮澤拓哉（群馬）と泉宗心音（愛媛）の10代プレイヤーが選手権者決定戦を制す

▽第6回東日本シニア競技大会（三重・津グランドボウル）
村上武男（神奈川）が男子シニアの3種目で優勝、大丸谷智子（石川）は女子グランドシニア個人総合で連覇

▽第6回西日本シニア競技大会（福岡・博多スターレーン）
女子グランドシニア個人総合で沖崇子（広島）がV2達成

▽第48回全日本実業団選手権大会（大阪・イーグルボウル）
エナジックインターナショナル（沖縄）が早くも今季2冠

▽文部科学大臣杯争奪第53回全日本大学選手権大会（京都・MKボウル上賀茂）
京都産業大学が男女とも5年ぶりに王座を奪還

▽文部科学大臣杯第22回全国高等学校対抗選手権大会（神奈川・川崎グランドボウル）
男子は県立横須賀工業（神奈川）が初制覇、女子は堀越（東京）が4年ぶり3度目の優勝

JBC公認ドリラー研修会
ブロンズコースを開催

JBC公認ドリラー有資格者研修会・ブロンズコースが12月7日(月)・8日(火)の2日間、神奈川・スポルト八景ボウルで開催されました。協会認証部会員の日坂義人ドリラーと棚橋孝太プロが講師を務め、ドリルに携わる上で必要な知識を正しく理解するための講義を展開しました。

ボウラーがイメージするボールの動きをいかに引き出すか、という点がドリラーの役目であり、具体的にはボール表面素材の特性を把握し、重心や構造など複数の要素を組み合わせて指穴の位置を決める必要があります。これらの要素に関する理論は、発表されてから十分な時間を経て実証されたものもあれば、確証に乏しいものもあり、実験や映像を活用して解説し理解を深めました。

また、投げ方の特性によってはドリルによる違いを引き出せない部分もあることから、ドリルの際に必ず試投して調整すること、納品後もフォローすることを含め、投球方法に関するインストラクションもドリラーの役割の一つと解説しました。投げ方によるボールの動きの違いを図る方法に関しては、受講者からもアイデアが発表されるなど、活発に意見交換されました。

手の各部を計測するメジャーリングの作業は、受講者が2人一組でお互いに計測するグループワークを実施。バランスホールの位置でどれだけボールの動きに違いがでるのかという実験は棚橋プロが実験用ボールを投球し、ローリングトラックを測って検証を行いました。

最後にブロンズコースの修了を認定するためのペーパーテストを実施。合格者には認定証が授与されます。

日坂ドリラーが多彩な講義を展開

実際の投球をもとに検証

メジャーリングを指導する棚橋プロ

公認ドリラー資格
更新手続きを開始

平成28年度のJBC公認ドリラー資格更新手続きを開始しました。各ドリラーの方には手続き書類を郵送していますのでご確認ください。届いていないという方はJBC事務局までご連絡ください。JBCホームページ（www.jbc-bowling.or.jp）内の資格情報コーナーでも更新申請書をダウンロードできます。

JBC公認ドリラー
新規認定者

（12月1日認定）
No.1784白石健司（島根県）
No.1785平林司（長野県）
No.1786森田雅章（福井県）

ボウリング振興寄付金　12/22現在

氏名・法人名・団体名	金額
北海道ボウリング連盟	91,000
青森県ボウリング連盟	100,000
愛知県ボウリング連盟	136,500
大阪府ボウリング連盟	110,000
奈良県ボウリング連盟	35,000
岡山県ボウリング連盟	136,000
愛媛県ボウリング連盟	68,400
高知県ボウリング連盟	30,000
長崎県ボウリング連盟	20,000
（公社）日本プロボウリング協会	1,000,000
齋藤良太郎	30,000

（順不同・敬称略）

International Headline
ワールドボウリング
新会長が就任

ワールドボウリング（世界ボウリング連盟）の総会が12月16日(水)にUAE・アブダビで開催され、シェーク・タラール・M・アル・サバーハ新会長が就任しました。シェーク・タラール会長はクウェートのボウリング選手およびコーチとして30年にわたり活躍。現在アジアボウリング連盟の会長を務めており、世界連盟会長職との兼務となります。

前会長のケヴィン・ドーンバーガー氏はワールドボウリングのリーダー代理に就任。今後はテレビ放送や大会の観客動員を増やし、若者への訴求力や、一般へのエリート競技者の認知度を高めることを方針としています。

平成27年度
各連盟公認競技会・リーグ登録数

平成27年12月25日 現在

地区名	連盟	競技会 公認件数	競技会 開催実数	リーグ 公認件数
北海道地区	北海道	34	81	6
東北地区	青森	28	44	
	岩手	24	72	
	宮城	29	103	
	秋田	18	65	
	山形	18	72	2
	福島	20		
関東地区	茨城	18		
	栃木	10	41	
	群馬	16	66	7
	埼玉	39	144	8
	千葉	23	64	25
	東京	22	52	27
	神奈川	28	81	32
	山梨	15		
北信越地区	新潟	13	11	
	長野	16	50	6
	富山	24	85	1
	石川	19	50	18
	福井	9	13	
東海地区	静岡	38	142	16
	愛知	60	217	4
	三重	39	105	
	岐阜	18	49	
関西地区	滋賀	38	136	
	京都	54	238	14
	大阪	51	55	16
	兵庫	26	39	15
	奈良	14	19	2
	和歌山	11		
中国地区	鳥取	13	31	
	島根	3	14	1
	岡山	52	106	1
	広島	14	16	4
	山口	15	30	23
四国地区	香川	20	32	1
	徳島	10	36	2
	愛媛	18	15	4
	高知	10	20	
九州・沖縄地区	福岡	40	161	67
	佐賀	9	11	8
	長崎	19	40	42
	熊本	18	35	60
	大分	18	1	32
	宮崎	28	83	14
	鹿児島	22	51	
	沖縄	19	52	18
全日本学生連合		15		8
総計		1,115	2,828	484

イベントカレンダー
1月＆2月

▽1月5日(火)　JBC事務局仕事始め

▽1月13日(水)～17日(日)　全日本ナショナルチームウィンターキャンプ　沖縄・エナジックボウル美浜

▽1月22日(金)～24日(日)　第44回全日本クラブ対抗選手権大会　大阪・イーグルボウル

▽1月30日(土)　ボウリング教室（キャラバン隊・愛知）　愛知・稲沢グランドボウル

▽1月31日(日)　ボウリング教室（キャラバン隊・静岡）　静岡・藤枝グランドボウル

▽2月5日(金)～7日(日)　第33回全日本実業団都市対抗選手権大会　千葉・VEGAアサヒボウリングセンター

▽2月12日(金)～14日(日)　JBC会長杯第31回全日本年齢別選手権大会　福岡・博多スターレーン

▽2月22日(月)～24日(水)　第47回全日本大学個人選手権大会　神奈川・川崎グランドボウル

賛助会員、特別法人・個人会員紹介
〈平成27年12月1日以降登録者〉

【特別個人会員】
▽秋田県　金田勝年（連盟会長）、津谷聡（同副会長）、半田貞夫（同理事長）、布目浩嗣（同副理事長）、伊藤照子、遠藤傅、三浦真、伊藤渉、伝野与三郎、津谷はるみ
▽福島県　亀岡偉民（連盟会長）、伊藤寛（JBC理事、連盟理事長）、垣内泰（連盟副理事長）、根本長徳(同)、齋藤憲治(同)
▽鹿児島県　福本勝則（連盟理事長）、本田征男、池田貴弘

〈順不同・敬称略〉

長い沈黙を破り 復活V! 京都産業大学

文部科学大臣杯争奪 第53回全日本大学選手権大会

文部科学大臣杯争奪第53回全日本大学選手権大会が11月21日(土)から23日（月・祝）にかけて、京都・MKボウル上賀茂（公競№1206-005）で開催された。男子は昨年まで3連覇の名古屋産業大学を抑えて京都産業大学が優勝。女子も京都産業大学が接戦を制して頂点に立った。

京都産業大学は男女とも5年ぶりの王座。かってアベック11連覇を誇った強豪が長い沈黙を破った。

MKボウル上賀茂
伊藤マネジャー

協会
北川副会長

学連
佐藤委員長

京都府連盟
田坂会長

開会式

開会式は大会初日の11月21日(土)13時より執り行われた。出場校の紹介、文部科学大臣杯の返還セレモニーに続き、全日本学生連合の会長を務める北川薫協会副会長が、大会会長として挨拶した。会場のMKボウル上賀茂より伊藤友哉マネジャーに、（一社）京都府ボウリング連盟の田坂幾太会長より祝辞をいただき、全日本学生連合の佐藤貴啓委員長が訓辞を述べた。

競技規程説明・認証報告の後、参加全選手を代表して東北学院大学の遠藤明日香選手と名古屋産業大学の和田敏孝選手が選手宣誓を行い、3日間の熱戦が幕を開けた。

遠藤、和田両選手が宣誓

競技

女子の部

予選1回戦、岡山商科大学は3ゲーム目に479と打ち上げて1256をマークした。京都産業大学は73ピン差で2位につけると、続く2回戦で1242と反撃。岡山商科大学は辛くもトップを守ったが、リードは10ピンまで縮んだ。

すると3回戦は両校の意地が激突。2ゲーム目に岡山商科・石本がスタートからストライクを続けて299をマークすると、京都産業の竹山も必死に喰らいついて269。このゲーム岡山商科の502に対し、505と上回って俄然勢いづいた京都産業は続く3ゲーム目で遂に逆転した。

予選を終えた時点で両校の差は28ピン。準決勝でも毎ゲーム接戦の展開が続き、京都産業がリードをわずかに広げて決勝戦に入った。

1ゲーム目を411とした京都産業に対し、岡山商科は380。2ゲーム目も12ピン上回った京都産業は、最終ゲームを前に81ピン差をつけた。最後は岡山商科も444と打ち上げたが、このゲームも436にまとめた京都産業が逃げ切り、5年ぶりの優勝を果たした。

女子入賞校

男子の部

男子も1回戦は岡山商科大学がトップ。3455の高スコアをたたき出して、2位の青森中央学院大学に156ピンの大差をつけた。2回戦もでも3214とした岡山商科は首位を守ったが、このシリーズは3200台を大きく上回るチームが続出して、青森中央学院も102ピン差まで差を詰めた。

3位につけていた京都産業大学は3回戦、1166・1170・1157の見事なスコアメイクを見せて一気にトップへ踊り出た。名古屋産業大学も1ゲーム目に1290をたたき出して3483。岡山商科は3231としながらも、青森中央学院にも抜かれて4位まで後退してしまった。

京都産業と名古屋産業の差は27ピン。準決勝では名古屋産業が1ゲーム目にいったん逆転するが、2ゲーム目に1191と打ち上げた京都産業が再びトップに立った。3ゲーム目も好調を維持した京都産業は、決勝戦を前にしてリードを200ピン超まで広げた。

決勝1ゲーム目、ここでも1175の京都産業は289ピン差をつけた。ラスト2ゲームは名古屋産業が差を縮めてきたが、193ピン差を守って5年ぶりの優勝を決めた。

男子入賞校

H／G、H／S、H／Avg
（左から）石本、宮田、太田

ガイド

全日本大学選手権大会は学生連合に加盟する大学チームによる日本一決定戦。男子は伝統の5人チーム戦、女子は2人チーム戦を戦う。

予選は9ゲーム、準決勝3ゲーム、決勝戦はさらに3ゲームを行い、15ゲームのトータルピンにより選手権校を決定する。

京都産業大学は1994年から2004年まで（第32～42大会）11年にわたり男女アベック優勝を続けた記録を持つ強豪。2015年に創学50周年を迎え、ボウリング部も同じく50年の歴史を持つ伝統校が、男女そろって5年ぶりの頂点で復活をアピールした。

文部科学大臣杯争奪 第53回全日本大学ボウリング選手権大会 成績表

平成27年11月21日(土)～23日(月・祝)
会場：京都・MKボウル上賀茂

男子5人チーム戦（5×15G）　京都産業大学　5年ぶり21度目

選手権校	京都産業大学	片山寛史・井阪晃生・増井孝行・内藤慎之介 太田貴久・三浦拓巳・土田勇樹	16,645
準優勝	名古屋産業大学	登川一真・佐々部隼斗・和田敏孝・森本海成 吉田健大・渡邉貴仁・谷岡昌樹	16,452
第3位	青森中央学院大学	工藤陽一郎・石川新・佐々木謙介・工藤壽紀 宮田慶輝・白川大貴・深川広大	16,199
第4位	千葉商科大学A	木村拓哉・川上諒・今北侑吾 黒木和哉・佐藤貴啓・杉村健太	16,106
第5位	岡山商科大学	志摩竜太郎・河邊領治・比嘉恭平・宮崎誠也 高淵玲志・牧哲也・田中雄也	15,900
第6位	慶應義塾大学	亀谷祐輝・小原遼太朗・夏目健太郎 中島総太・木村慧・杉田芳樹	15,454
ﾁｰﾑﾊｲｹﾞｰﾑ	名古屋産業大学	登川一真・佐々部隼斗・和田敏孝・森本海成 吉田健大・渡邉貴仁・谷岡昌樹	1,290
ﾁｰﾑﾊｲｼﾘｰｽﾞ	京都産業大学	片山寛史・井阪晃生・増井孝行・内藤慎之介 太田貴久・三浦拓巳・土田勇樹	3,493
個人ﾊｲｹﾞｰﾑ	宮田慶輝	（青森中央学院大学）	290
個人ﾊｲｼﾘｰｽﾞ	太田貴久	（京都産業大学）	771
個人ﾊｲｱﾍﾞﾚｰｼﾞ	太田貴久	（京都産業大学）	234…3

女子2人チーム戦（2×15G）　5年ぶり16度目

選手権校	京都産業大学	竹山亜希・堀田恵子・廣瀬美咲	6,232
準優勝	岡山商科大学	原田菜津実・石本美来	6,159
第3位	東北学院大学	遠藤明日香・安部良咲・黒田成美	5,503
ﾁｰﾑﾊｲｹﾞｰﾑ	京都産業大学	竹山亜希・堀田恵子・廣瀬美咲	505
ﾁｰﾑﾊｲｼﾘｰｽﾞ	京都産業大学	竹山亜希・堀田恵子・廣瀬美咲	1,336
個人ﾊｲｹﾞｰﾑ	石本美来	（岡山商科大学）	299
個人ﾊｲｼﾘｰｽﾞ	石本美来	（岡山商科大学）	704
個人ﾊｲｱﾍﾞﾚｰｼﾞ	石本美来	（岡山商科大学）	214…8

県横須賀工（神奈川）初優勝　堀越（東京）有終V

文部科学大臣杯 第22回全国高等学校対抗選手権大会

文部科学大臣杯第22回全国高等学校対抗選手権大会が12月18日㈮から20日㈰にかけて、神奈川・川崎グランドボウル（公競№114-023）で開催された。全国の高校チームがダブルスで優勝を争うこの大会。男子はここ4大会連続で入賞してきた県立横須賀工業高等学校（神奈川）が悲願の初優勝を飾り、女子は堀越高等学校（東京）の3年生ペアが同校4年ぶり3度目の優勝で有終の美を飾った。

文部科学大臣杯を手にした横須賀工業㈲と堀越

開会式

協会武部会長

昨年まで10年間、スポーツ拠点づくり推進事業の一つとして実施されてきた高校対抗選手権。期間を満了して最初となる今年も引き続き神奈川県川崎市での開催が叶った。開会式は大会初日の12月18日㈮、川崎市教育文化会館において執り行われた。

参加校の紹介では全86チームの選手がアナウンスに合わせて一礼し、前回優勝校の男子・県立大宮工業高等学校（埼玉）と女子・県立今治西高等学校（愛媛）から文部科学大臣杯が返還された。

川崎市スポーツ協会齊藤会長

全公協伊藤会長

大会主催者を代表して、武部勤協会会長と（公財）川崎市スポーツ協会の齊藤義晴会長が選手にエールを送り、全国ボウリング公認競技場協議会の伊藤博元会長から祝辞をいただいた。

競技規程説明・認証報告に続いて、地元神奈川県代表の県立釜利谷高等学校・五十嵐直也選手と、県立横浜南陵高等学校・内田侑希選手が選手宣誓し、大会が開幕となった。

五十嵐、内田両選手による選手宣誓

プログラム表紙イラスト制作者に感謝状

全国高等学校対抗選手権大会のプログラム表紙は毎年、川崎市立川崎総合科学高等学校にイラスト制作を依頼。今年も同校デザイン科2年の野口奏恵さんによるアニメ調のイラストが表紙を飾った。大会開会式上にて野口さんには感謝状が贈呈された。

感謝状を贈呈された野口さん

上位入賞に豪華副賞

今大会には㈱アメリカンボウリングサービス、㈱サンブリッジ、㈱コバ商事、㈱アーク・インターナショナルの各社よりボールバッグ、ボウリングウェアが提供され、男女の優勝・準優勝チームと個人ハイシリーズ賞に副賞として贈呈された。

競技　女子の部

1回戦は堀越（東京）が3ゲームともプラスに乗せて1268でトップ。県立横浜南陵（神奈川）は26ピン差で2位につけると、1220台をマークした3校が3位集団を形成して接戦模様でのスタートとなった。

2回戦ではその3位集団がトップ3に浮上。県立大師（神奈川）は5位から一気に首位を奪い、4位につけていた県立釜利谷（神奈川）は2ピン差で2位。3位の函館大妻（北海道）も釜利谷と2マーク差で続いた。

いったん4位に後退した堀越だったが、3回戦では再び1255をマークしてトップ通過を決めた。函館大妻が2位に入って北海道勢女子初の決勝進出。3・4位には地元神奈川勢が並び、昨年の優勝決定戦進出校、福島東稜（福島）と県立今治西（愛媛）も決勝へ。7位には今治精華（愛媛）が、8位には県立木曽川（愛知）が入った。

照山莉央

八木穂香

決勝トーナメント1回戦、堀越は438の好スコアで木曽川に勝利した。函館大妻も今治精華を42ピン差で下した。大師VS福島東稜は408をマークした福島東稜が勝ち上がり、釜利谷VS今治西は7ピン差の接戦をものにした今治西の勝利となった。

勝てば3年連続の優勝決定戦進出となる福島東稜と、1位通過の堀越による準決勝は最終フレームにもつれ込む接戦に。堀越・照山が6・7・10の難しいスプリットで逆転のチャンスを与えてしまうが、見事にスペアを決めて7ピン差で堀越が逃げ切った。

今治西の御手洗ツインズは準決勝で2人そろってストライクラッシュ。函館大妻はここにきて調子が上がらず、このゲームは今治西の大勝となった。

東日本大震災復興支援「とどけよう　スポーツの力を東北へ!」
第33回
全日本実業団都市対抗ボウリング選手権大会
2016/2/5㈮▶7㈰
主　催　公益財団法人 全日本ボウリング協会
後　援　全国ボウリング公認競技場協議会　千葉県ボウリング公認競技場協議会
主　管　全日本実業団ボウリング連合　千葉県ボウリング連盟
ベガ Asahi Bowling Center
VEGAアサヒボウリングセンター
〒260-0021　千葉県千葉市中央区新宿2-1-5
TEL 043-242-2331　http://asahi.ps-vega.com/

JBC会長杯
第31回全日本年齢別ボウリング選手権大会
東日本大震災復興支援「とどけよう　スポーツの力を東北へ!」
2016.2.12(金)▶14(日)
主　催　公益財団法人 全日本ボウリング協会
後　援　公益財団法人 福岡県体育協会
全国ボウリング公認競技場協議会　福岡県公認ボウリング場協会
主　管　福岡県ボウリング連盟
ココロ、カラダ、元気!
STARLANES 博多スターレーン
〒812-0013　福岡県福岡市博多区博多駅東1-18-33
TEL 092-451-4321　http://www.starlanes.co.jp/hakata/

昨年、1年生ペアにして大会を制した今治西は今年も優勝決定戦まで勝ち進んだ。パワーアップして帰ってきたと評判も高い今治西だったが、ダントツのトップ通過を決めた堀越も強さを発揮した。照山はスタートからストライクを連発し、八木も堅実なボウリングを見せる。今治西は劣勢にも持ち前の明るさを失わずに投げ続けたが、5フレーム目の時点で7マークの大差をつけた堀越の勢いは後半も止まらなかった。パーフェクトの期待も抱かせた照山のスコアは258、八木もイージーミスなくまとめて431とし、3年生2人で臨んだ堀越が最後の挑戦を優勝で飾った。

祝福を受ける堀越メンバー

女子の部入賞校

男子の部

予選開始からハイレベルな上位争いとなった男子。1回戦は日体荏原（東京）と県立大宮工業B（埼玉）が1410台に乗せて1・2位につけた。3位の県立横須賀工業A（神奈川）はその3マーク差で、6位まで1300台後半というスコアが並んだ。

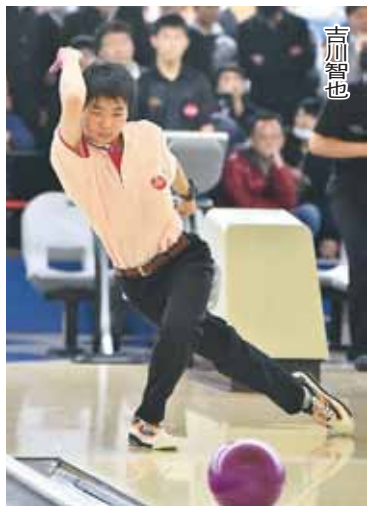
横須賀工業Aは2回戦も1340をマークし首位を奪った。入賞圏外からのスタートだった県立嘉穂（福岡）は1回戦のトップを上回る1421をたたき出すと2位までジャンプアップした。日体荏原はトップと43ピン差の3位に留まり、依然上位は混戦。最終となる3回戦では嘉穂が1296とし逆転で1位通過を決めた。横須賀工業Aは10ピン差で2位、3位に洛陽総合（京都）が続き、1年生ペアの近畿大学附属新宮（和歌山）は4位で通過を決めた。日体荏原は5位、常連の津田学園（三重）が6位で、7位に岐阜聖徳（岐阜）、8位埼玉栄（埼玉）が決勝進出となった。

決勝の1回戦で嘉穂は埼玉栄を60ピン差で下した。横須賀工業Aも岐阜聖徳に大差をつけて勝利。常連校同士の対決となった洛陽総合VS津田学園はプラスにまとめた洛陽総合に軍配が。近大新宮と日体荏原は7ピン差の接戦となり、近大新宮が勝利した。

続く2回戦、嘉穂と近大新宮の対戦は、嘉穂の田中がターキースタートで前半リードするも、近大新宮の上村が6フレーム目から最後までストライクを続けて逆転で勝利を決めた。横須賀工業Aと洛陽総合の一戦は、5フレーム目のスコアがわずか3ピン差という大接戦。緊張感の中、4人とも終盤にオープンフレームを作ってしまうが、横須賀工業Aの吉川が9・10フレーム目でターキーをマークして引き離し、優勝決定戦への切符をつかんだ。

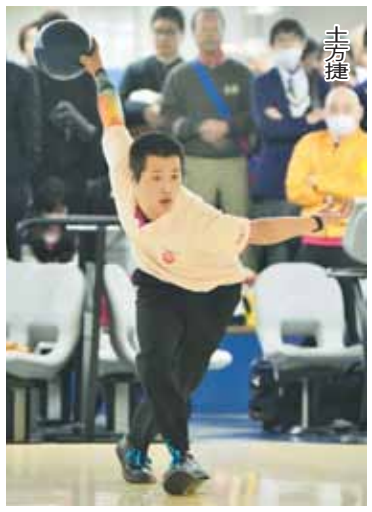
1年生ペアで初出場の近大新宮に対し、毎年のように決勝進出を果たしてきた横須賀工業Aは優勝への意地を見せつけた。まずは吉川がダブルで先制、追うように土方も2フレーム目からストライクを続けていった。近大新宮は2回戦までの快進撃ぶりがなりを潜め、ストライクが続かない。攻めの手をゆるめない横須賀工業Aは土方捷が256、吉川が199とし、85ピンもの大差をつけて優勝を決めた。

優勝候補とされながらもこれまで一歩届かずにきた横須賀工業。3年目での戴冠を果たした土方は男泣きを見せ、吉川は満面の笑みで優勝を喜んだ。


吉川智也

男子の部入賞校

好ゲームにハイタッチする横須賀工業


土方捷

㊤H/G（左から）照山、土方、室原㊦H/S（左から）内田、野村

パーフェクト300　土方・室原が達成

第22回全国高等学校対抗選手権大会において、土方捷選手（神奈川・県立横須賀工業）と室原一貴選手（東京・日体荏原）が大会第10・11号となるパーフェクトゲームを達成、それぞれ協会主催大会公認第3386・3387号パーフェクトゲームとして認定された。両選手には会場の川崎グランドボウルより記念品が贈呈された。

土方　捷	県立横須賀工業高	
	神奈川県	18歳
使用ボール	Marvel Maxx(15p3oz)	
公認ドリラー	山本　勲　（公認No.　1548-14　）	

室原一貴	日体荏原高	
	東京都	18歳
使用ボール	Hy-Road(15p3oz)	
公認ドリラー	野澤健一　（公認No.　0454-14　）	

ガイド

「ボウリングの甲子園」として川崎市で11年目の開催を迎えた全国高校対抗。昨年度で「スポーツ拠点づくり推進事業」の10年間を満了し、今年からはJBCと（公財）川崎市スポーツ協会が主催、川崎市、川崎市教育委員会が共催というかたちでの開催となった。

競技種目は男女とも2人チーム戦で、予選は9ゲームを行い、上位8校が決勝トーナメントに進出する。順位に応じての組み合わせを決定し、1ゲームマッチで1回戦、2回戦、優勝決定戦を勝ち上がったチームが優勝となる。

主催　（公財）全日本ボウリング協会（公財）川崎市スポーツ協会

共催　川崎市、川崎市教育委員会

後援　スポーツ庁、神奈川県教育委員会、（公財）神奈川県体育協会、神奈川県高等学校体育連盟、川崎地区高等学校体育連盟、全国ボウリング公認競技場協議会、神奈川新聞社、tvk（テレビ神奈川）

協力　（公社）日本ボウリング場協会、川崎グランドボウル、読売新聞川崎読売会、サントリービバレッジサービス㈱、川崎ホテルパーク、パールホテル川崎、ホテルスカイコート川崎、川崎セントラルホテル

協賛　川崎アゼリア㈱

主管運営　神奈川県ボウリング連盟

文部科学大臣杯
第22回全国高等学校対抗ボウリング選手権大会
成績表

平成27年12月18日（金）～20日（日）
会　場：神奈川県・川崎グランドボウル

参加：男子64校・女子22校

≪男子の部≫

優　勝	神奈川県立横須賀工業高等学校A（神奈川県）	
	吉川智也（2年）土方　捷（3年）長瀬智哉（3年）	
準優勝	近畿大学附属新宮高等学校（和歌山県）	
	下　陽人（1年）上村弥奨（1年）	
第3位	福岡県立嘉穂高等学校（福岡県）	
	田中拓実（2年）長尾健汰（2年）	
第4位	洛陽総合高等学校（京都府）	
	野村経博（3年）宇津圭珠（3年）松田一繁（2年）	
第5位	日体荏原高等学校（東京都）	
	室原一貴（3年）村上裕一（3年）藤原拓斗（2年）	
第6位	学校法人佐藤栄学園埼玉栄高等学校（埼玉県）	
	髙橋悠太朗（2年）穴井陸斗（2年）	
第7位	聖徳学園高等学校（岐阜県）	
	岡田聖也（2年）安田昂平（2年）	
第8位	津田学園高等学校（三重県）	
	髙木裕太（2年）加藤勇紀（2年）福田竜也（2年）	
ﾊｲｹﾞｰﾑ	土方　捷（神奈川・県立横須賀工業高等学校3年）	300
	室原一貴（東京・日体荏原高等学校3年）	300
ﾊｲｼﾘｰｽﾞ	野村裕大（山形・山本学園高等学校1年）	792

≪女子の部≫

優　勝	堀越高等学校（東京都）	
	照山莉央（3年）八木穂香（3年）越山舞也（1年）	
準優勝	愛媛県立今治西高等学校（愛媛県）	
	御手洗令奈（2年）御手洗加奈（2年）	
第3位	福島東稜高等学校（福島県）	
	上口りずむ（1年）斎藤こ夏（3年）	
第4位	函館大妻高等学校（北海道）	
	西邑樹如（2年）工藤ひかる（1年）	
第5位	今治精華高等学校（愛媛県）	
	菊川加那子（2年）池内紫音（2年）	
第6位	神奈川県立大師高等学校（神奈川県）	
	前田萌歌（2年）小沼　姫（3年）横山実美（3年）	
第7位	愛知県立木曽川高等学校（愛知県）	
	山田望玖里（1年）服部優子（2年）	
第8位	神奈川県立釜利谷高等学校（神奈川県）	
	野中千里（2年）勝俣茉咲（2年）今田菜恵（1年）	
ﾊｲｹﾞｰﾑ	照山莉央（東京都・堀越高等学校3年）	275
ﾊｲｼﾘｰｽﾞ	内田侑希（神奈川・県立横浜南陵高等学校2年）	704

TOP BOWLER

vol.102 もっと成長した私を見せたい

いずむね・しおん　16歳　聖カタリナ女子高校１年　2014年全日本ユースナショナルチームに選ばれ、同年世界ユース選手権大会でオールエベンツ金メダルをはじめ４種目で入賞し、日本女子の国別総合優勝の立役者に。2015年はＮＨＫ杯で５位入賞、西日本選手権では優勝と国内での実績も重ね、全国都道府県対抗選手権大会で女子選手権者となり、ジュニアの枠を超えた活躍が目立った。

……

快進撃の2015年を振り返って、一番印象に残っている大会は？

「都道府県対抗です。私にとって初めての大人もまじった大きなタイトルで、とてもうれしかったし、自信になったからです。それに来年は地元（愛媛）開催なのですごいプレッシャーですが、もっとがんばらなきゃ！と思わせてくれた大会だからです。また１年間でだいぶメンタル面が強くなったかなと思います。国体のときに、個人戦で悔しい思いをしても、引きずらずに気持ちをしっかりもって次に進めて団体戦で優勝できたので、しらずしらずのうちに強くなってきたのかなと思いました。この年でたくさん海外大会にも行かせていただいて、経験もつんできたので、その成果がだいぶでてきたかなと実感できた１年でした。でも、すぐ小さなことでイライラするので、まだまだですね(笑)」

国際大会にも果敢に挑戦。国内と違う魅力は？

「国際大会は、自分より上の実力を持った選手を近くで見られて一緒に投げられるというのが魅力だと思います。たくさん勉強できるし、今の自分に足りない所がすぐにわかるので、すごく勉強になります。また、たくさん友だちができるので、おもしろいしとても楽しいです!!英語が喋れたらもっとおもしろいと思うのですが…英語もがんばります！(笑)」

2016年の目標を…

「海外大会もあるので、その選考会に通ることと、今の自分よりも一一っと成長できた私を見せられるように、つきつめた練習をしていきたいです！また、愛媛国体も１年後となるので、地元開催の自覚をもちながらがんばりたいです！」

泉宗心音さん（愛媛県）

下地賀寿守コーチのボウリングキャラバン

今年度ラストは愛媛で

全日本ナショナルチームコーチの下地賀寿守プロがボウリングの基本を楽しく解説するボウリング教室（キャラバン隊）。今年度最終回は愛媛で開催されます。

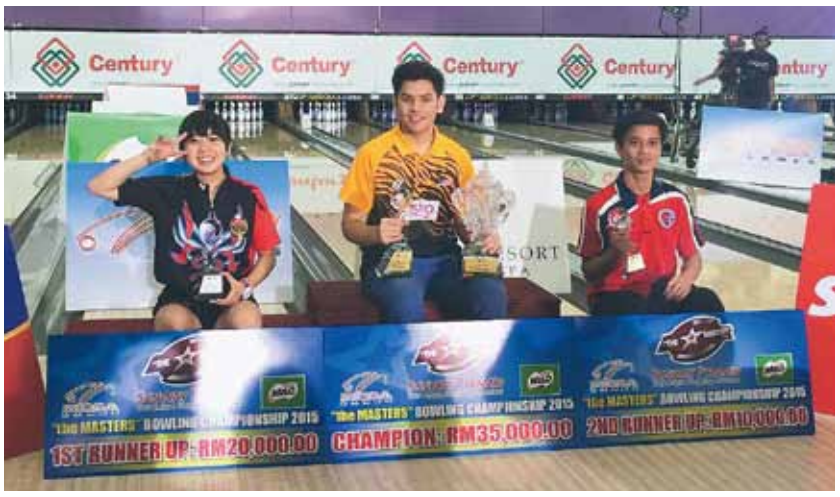
▽愛媛会場　3月12日(土)　キスケボウル（公競№138-032）

ＪＢＣの会員／非会員を問わず参加可能で、参加費（講習・実技費用およびテキスト代）は無料です。参加希望の方は協会事務局（TEL03-3452-4501／キャラバン担当）までお問い合わせください。（締切は2月19日(金)、先着50名に達し次第受付を終了します）

MILOインターナショナル the MASTERS

泉宗心音が準優勝

We are Team JAPAN ナショナルチーム通信



海外でも強敵相手に準優勝の泉宗（左）

マレーシアで11月29日(日)から12月6日(日)にかけて行われた第16回ＭＩＬＯインターナショナルジュニアオールスターズ選手権大会２０１５で、全日本ユースナショナルチームメンバーの泉宗心音選手（愛媛・聖カタリナ女子高校）が好成績を収めました。

12歳以下、15歳以下、21歳以下の各部門に加えて実施された、男女混合による年齢制限のない競技会「ザ・マスターズ」で、泉宗選手は予選を突破して48人による本選に進出すると、10ゲーム2451ピンの高スコアを残して首位に立ちました。決勝ステップラダーでは優勝決定戦へのトップシードを獲得し、勝ち上がってきたR・イスマイル選手（マレーシア）と対戦。1ゲーム目は263対290で敗れたため、2ゲーム目を行いましたが、ここでも237対259で黒星を喫し、惜しくも準優勝となりました。この大会では、山下知且選手（元全日本ナショナルチームメンバー・長崎）も4位に入賞しました。

最優秀選手は水谷若菜

東京運動記者クラブボウリング分科会表彰

15才にしてビッグタイトルの水谷が最優秀選手に（右は男子優勝の森本健太プロ）

東京運動記者クラブボウリング分科会が選ぶ平成27年のアマチュア最優秀選手に、全日本ユースナショナルチームメンバーの水谷若菜選手（愛知・あま市立七宝中学校）が選ばれました。

水谷選手は10月に第38回ジャパンオープン選手権大会に出場、プロ・アマ総勢１００Ｏ名超が参加する中、（公社）日本プロボウリング協会のツアー史上最年少での大会制覇を果たしたことが評価されました。

プロの部では、姫路麗プロが最優秀選手に、山田幸プロがニュースター賞に選ばれました。表彰式は1月20日(水)開催の（公社）日本ボウリング場協会賀詞交歓会にて行われます。

日本スポーツ賞

吉田・安里ペアが優秀団体に

世界選手権で銀メダルの安里(左)と吉田に表彰

2015年に最も活躍したスポーツ選手・チームを表彰する第65回日本スポーツ賞（読売新聞社制定）の受賞者が12月17日(木)に決定。ボウリングの世界選手権男子ダブルスチームが優秀団体に選ばれました。

審査の対象となる期間は2014年12月から2015年11月までの1年間。2014年12月に開催された世界選手権大会男子大会で、日本代表の吉田大祐（愛知・稲沢グランドボウル）と安里秀策（愛知・東名ボール）がダブルス戦で銀メダルを獲得したことが評価されました。

グランプリ（大賞）にはレスリングの世界選手権、オリンピックで通算13度の世界一になった伊調馨選手が選ばれました。ラグビーワールドカップで快挙を遂げた日本代表チームと、体操の世界選手権で男子団体総合優勝の日本代表チームが特別賞、水泳の世界選手権女子200メートル平泳ぎで優勝した渡部香生子選手が奨励賞に決定しました。